

**製品名: JDP2 (リン酸化 Thr148) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04906**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	JDP2
別名	JDP2; Jun dimerization protein 2
遺伝子 ID	122953.0
SwissProt ID	Q8WYK2
免疫原	抗血清は、Thr148 のリン酸化部位周辺のヒト JDP-2 由来の合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 114-163

**背景**

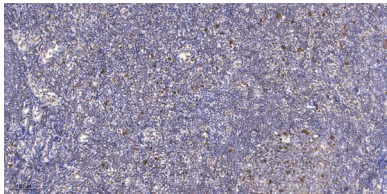
機能: AP-1 転写因子の構成要素であり、Jun ファミリータンパク質による転写活性化を抑制する。紫外線誘導性アポトーシス、細胞

分化、腫瘍形成、抗腫瘍効果など、AP-1に関連する様々な転写応答に関与する。また、ヒストン脱アセチル化酵素 3/HDAC3 を JUN のプロモーター領域にリクルートすることで、リプレッサーとして機能する。ヒストンの修飾とクロマチンの組み立てを直接制御することで転写を制御する可能性がある。、PTM: 紫外線照射、酸化ストレス、アニソマイシン処理などの様々なストレス条件に応答して、MAPK8 による Thr-148 のリン酸化が引き起こされる。、類似性: bZIP ファミリーに属する。 ATF サブファミリー。、類似性:1 つの bZIP ドメインを含みます。、サブユニット:JUN、JUNB、JUND、CEBPG、ATF2 とホモダイマーまたはヘテロダイマーを形成し、JUN、ATF2、CEBPG によるトランス活性化を阻害します (類似性による)。 cAMP 応答エレメント (CRE) や TPA 応答エレメント (TRE) などの複数の DNA エlement にホモダイマーまたはヘテロダイマーとして結合します。、機能:AP-1 転写因子の構成要素であり、Jun ファミリーのタンパク質によるトランス活性化を抑制します。 UV 誘導アポトーシス、細胞分化、腫瘍形成、抗腫瘍など、AP-1 に関連するさまざまな転写応答に関与しています。また、ヒストン脱アセチル化酵素 3/HDAC3 を JUN のプロモーター領域にリクルートすることで、リプレッサーとしても機能します。ヒストンの修飾とクロマチンの組み立てを直接制御することで転写を制御する可能性があります。、PTM: 紫外線照射、酸化ストレス、アニソマイシン処理などの様々なストレス条件に対する MAPK8 による Thr-148 のリン酸化。、類似性: bZIP ファミリーに属します。 ATF サブファミリー。、類似性: 1 つの bZIP ドメインを含みます。、サブユニット: JUN、JUNB、JUND、CEBPG、ATF2 とホモダイマーまたはヘテロダイマーを形成し、JUN、ATF2、CEBPG による転写活性化を阻害します (類似性による)。 cAMP 応答エレメント (CRE) や TPA 応答エレメント (TRE) などの複数の DNA エlement に、ホモダイマーまたはヘテロダイマーとして結合します。、

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45分)。